

「学力向上を目指したICTの効果的な取組事例」

蓮田市教育委員会・蓮田市立蓮田南小学校

1. 蓮田市教育委員会の取組

(1) 蓮田市のICT環境整備状況

- ・各学校のPC室 小学校40台・中学校40台
- ・タブレット端末 小学校約10台・中学校約10台
- ・各教室に可動式無線LAN（小学校のみ体育館にも配備）
- ・プロジェクター一体型ホワイトボード 各小学校7機
- ・TV会議システム（市内3機）



(2) 今後の課題

- ・双方向型の学習システムの活用（Teamsの活用・オンライン授業等）
- ・一人一台端末の環境を活かした授業展開の工夫

2. 蓮田市立蓮田南小学校の取組

学習指導要領の趣旨を生かした学習指導の充実（分かる、楽しい授業づくり）



夢を持ち、夢に向かって努力する児童



日々の授業の充実
<主体的、対話的で深い学び>

よりよくアウトプット
できる力の育成

キャリア教育の推進

- ・児童の人生設計力、自己理解力の育成

- ①チャイムと同時に授業を開始する。（終える）
- ②「聴く」という姿勢を大切に。 (教師も児童も)
- ③ねらいを提示する。
- ④一人で考える時間をつくる。
- ⑤わかったことを仲間に説明する時間をつくる。
- ⑥ペアや班で考える時間をつくる。
- ⑦考えを発表する時間をつくる。
- ⑧授業を振り返り、自己評価する時間をつくる。
- ⑨ICTの効果的な活用



豊かな心を育む体験活動
・GTの効果的な活用

家庭学習の定着 家庭との連携
読書活動の習慣 読書貯金

いじめのない、居がいのある楽しい学級づくり



家庭・地域との協力・連携

研究の取組

(1) 主体的、対話的で深い学びへの取組 (教師からの意図的なはたらきかけ)



生活科地域学習では、児童の現地取材が困難であったため、職員が取材した映像を活用した。

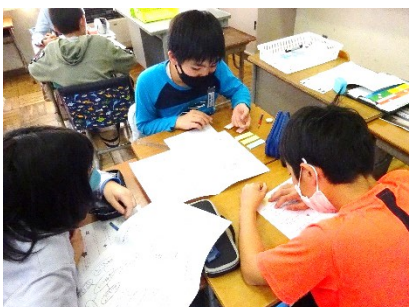


社会科では、実物提示が難しい教材を画像提示し、児童の理解に役立てた。



振り返りがしやすい板書に努め、主体的な学びに向けたワークシート、ヒントカード等も工夫している。

(2) 主体的、対話的で深い学びへの取組 (児童の学び)



グループ学習の話合いでは、付箋やメモ等も活用し、考え方を比較検討し、学びを深めている。

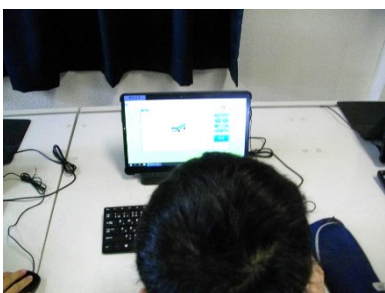


教材を利用し、グループで共に学び合うことを通して、プログラミング的思考を高めている。



体育科では、児童自らタブレットを操作し、器械運動等のフォームの修正に役立っている。

(3) その他の取組 (教師・児童)



業前時間に学習ソフトを活用し、基礎基本の習熟に取り組んでいる。



今年度は、教室での3密を避けるためにTeamsでのオンライン授業研究会を行っている。



市教委による各学級メール設定により、臨時休校中の課題提供や健康観察等、保護者との連携方法が広がった。

ICTの効果的な活用による効果

- ねらいや意図に応じて活用法を創意工夫することにより、より主体的な学びへとつながった。
- コロナ禍の時代に、児童により安全な学習活動を展開する上でも効果的であった。
- 保護者との連携の強化や不登校傾向の児童への対応等、新たな手立てとして有効であった。